

結核について

わが国の結核はかなり減少しましたが、まだ2万人前後の患者が毎年発生しており、大人から子どもへ感染することも少なくありません。また結核に対する抵抗力(免疫)はお母さんからお腹の中でもらうことができないので、生まれたばかりの赤ちゃんもかかる心配があります。乳幼児は結核に対する抵抗力が弱いので、全身性の結核症にかかったり、結核性髄膜炎けっかくせいずいまくえんになることもあり、重い後遺症を残すこととなります。

BCG について

BCG の接種方法は管針法といってスタンプ式で上腕の2カ所に押しつけて接種します。接種したところは、日陰で乾燥させてください。10 分程度で乾きます。

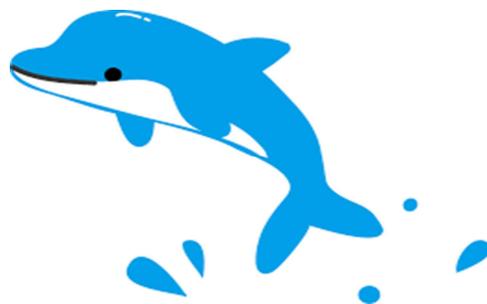
接種後の経過について

接種後10日頃に接種局所に赤いポツポツができ、一部に小さく膿(うみ)をもったりします。

この反応は接種後 4 週間頃に最も強くなりますが、その後は、かさぶたができて接種後3ヵ月までには治り、小さなきずあとが残るだけになります。これは異常反応ではなく、BCG がついた証拠です。包帯をしたり、バンソウコウをはったりしないで、そのまま普通に清潔を保ってください。自然に治ります。

ただし、接種後 3 ヶ月を過ぎても接種のあとがジクジクしているようなときは医師に診てもらってください。

副反応としては接種をした側のわきの下のリンパ節がまれに腫れることがあります。通常放置して様子を見てかまいませんが、ときにただれたり、大変大きく腫れたり、まれに化膿して自然にやぶれ膿が出る場合があります。その場合には医師に診てもらってください。上記のようなことがあれば、健康増進課へ連絡ください。



《お問い合わせ》

大網白里市健康増進課(保健センター) TEL 0475-72-8321